

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成19年4月30日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 へて

住 所:〒 501-5121
岐阜県郡上市白鳥町白鳥968番地の21

法人(団体)名: 特定非営利活動法人
きっぱづけ 印

代表者名: 稲葉秀章

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成18年度(前期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

郡上市白鳥地区高齢者生活支援事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立前事業助成	立ち上げ時期事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
-----------	------------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	4849千円
実績額	4849千円
差し引き額	0千円

4. 事業実施期間

平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日 (1年 か月間)

5. 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況(実施日時、場所〔住所〕、対象者、参加者等)

地域の高齢者から写真を借り昭和の写真展開催 平成18年5月

岐阜県安全安心街づくりボランティア登録 平成18年5月

配食サービスの配達事業を商工会から独立し独自で事業を行う 平成18年6月

安否確認サービスの安否確認ボタンを設置の希望者を募り訪問し、本人と離れて生活する家族に了解を取った。平成18年4月から順に設置

名城大学酒井教授と配食サービスを通して健康調査を行う 平成18年6月

セーフティ・ドライビングコンテスト参加 無事故無違反賞5名 平成18年8月から12月

名城大学酒井教授と配食サービスを通してのアンケート調査を行う 平成18年9月

第三回きっぱづけ講演会 平成18年10月

買物代行の先進団体を訪問 高岡市買物くらし応援団 平成18年11月

日本医療福祉設備学会において名城大学学生と健康調査共同発表

平成18年11月16日

郡上市の高齢者見守り支援テレビ電話実験に参加 平成18年11月から2月

AED講習に11名参加 平成18年12月

高齢者買物代行サービス平成18年4月から3月

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

安否確認ボタンの参加者を呼びかけるにあたり、離れて生活する家族の理解を取るのに

時間が掛かった。

ボタンを押すことにより、メールが離れて住む息子達に送られ、忘れた時など逆に電話連絡が親元にあり会話が増えたと言われた。親がボタンを押すことに生きがいが出てくる人もいた。

きっぱづけ事務所と確認ボタンを設置した高齢者とは、ほかの高齢者よりもコミュニケーションが増え、買物代行を依頼されることが多くなった。

確認ボタンといえども、時々ボタンを押してくる高齢者もいる。

ボタンを設置した高齢者の中には、パソコンに興味がある人もいて、システムについて具体的な提案を出す人もいた。

毎日三回押しボタンを押す人から、一日一回の人、思い出したように押す人、訪問の度に説明をするが、一、二回信号が来るが後忘れる人、施設に入り長期不在者がいる。

第三回きっぱづけ講演会は340名の参加者があった。痴呆についての講演で質疑応答があった。

(3) 今後の課題

郡上市の配食サービスの見直しで、この一年、利用者が減少し、1/3になった。

配食サービスを通じた健康調査などを利用して、配食サービスの付加価値を上げることを目指したい。

離れて住む家族からシステムの利用料が、なかなか理解されない。

単に押しボタン情報だけでなく、高齢者に血圧計を利用してもらい、そのデータを転送利用したシステムと地域の医療機関との連携で付加価値を高めたい。